

# 情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社 かほく 上品の郷

## 1 貸借対照表に関する補足

### (1) 総括分析

当期は2,334千円の利益計上をしたものの、利益剰余金の配当2,522千円の支払いが有り結果として純資産が対前期188千円減少した。

売上げ減少、大修繕引当金5,000千円の計上が影響しているといえる。

(資産及び負債において、特殊な項目での増加は無かった)

貸借項目での重要な数値「自己資産比率」は50%台を維持しているものの、対前期比で1.7%低下している(前期 56.1%、当期 54.4%)

### (2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
前払費用	当期での計上は無	平成26年3月において、4月分支払額(8%分)を計上
大修繕引当金	前期計上なかったものの、当期5,000千円計上	前期は、地場産品等出荷奨励金支払を優先したため
支払消費税等	対前期5,299千円 414.6%増	消費税増税(5%→8%へ)が影響

## 2 損益計算書に関する補足

### (1) 総括分析

総売上高が対前期11,625千円減少している主な要因は、①来客数自体はわずかであるが増加しているものの、売上に結び付いていない ②保養施設入館料を、消費税率改正後も値上げせずに据え置いたことが影響している。販売費・一般管理費自体増加していないため、上記の①②について、今後の対応策が必要であるといえる。

### (2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
売上高	対前期8,882千円・2.1%減	(1)に記載した通り
地場産品等出荷奨励金	対前期5,451千円・75, 4%減	大修繕引当金計上のため計算率を見直したため

### 3 キャッシュフロー計算書に関する補足

#### (1) 総括分析

営業活動によるキャッシュフローは、前期と比較すると 2,032 千円増加している。主な要因は、償却前利益は当期 15,903 千円と、対前期 9,274 千円減少しているものの、大修繕引当金の計上、仕入債務及び支払消費税等が増加したためである。

投資活動・財務活動によるキャッシュフローと併せてみると、現預金が 3,849 千円減少しているが、資金繰りについては特に問題はないと考えられる。

#### (2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因

### 4 市による財政・金融支援等に関する補足

#### (1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額 (単位: 円)	補助金の使途

#### (2) 市からの委託業務等 (指定管理含む) の状況

委託業務の名称	委託料 (単位: 円)	委託業務の内容

#### (3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額 (単位: 円)	減免理由

## 市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：株式会社かほく・上品の郷

担当部署名：河北総合支所地域振興課

### 1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

#### （1）中間的な経営目的・事業計画

2014年度の来場者数は前年度並みの104万人であり、安定した集客力を示している。売上額は約10億円。直売所や温泉保養施設の直営分も横ばいである。豊富な品ぞろえと笑顔の接客により、今後も地元のリピーターを重視して営業することを期待する。

#### （2）主要事業の成果、課題

道の駅としての評価は高いと思われる。

### 2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

#### （1）貸借対照表

資産・負債の状況は、ほぼ横ばいである

#### （2）損益計算書又は正味財産増減計算書

売上高は前年同様であるが、大修理引当金を繰入れたため当期純利益は大幅な減少となっている。

(3) キャッシュフロー計算書

全体的なキャッシュフローは前年度に比べれば持ち直しているものの、前々年度には程遠い数字である。これも震災特需が落ち着いた影響と思われる。

(4) 市による財政・金融支援等

市からの財政支援は会社設立時の出資のみ

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

情報や交流の拠点施設として、道路利用者や地域住民等に対し、より一層親しまれるようサービスの向上及び運営の効率化に努められることを期待します。